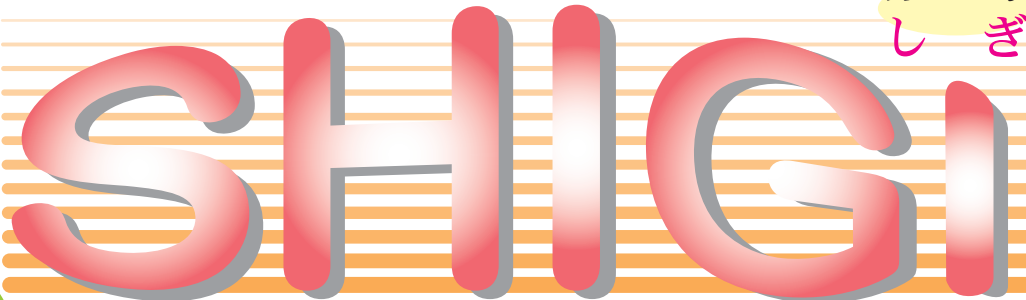




koseikai



編集発行人／医療法人厚生会 奈良厚生会病院

〒639-1039 奈良県大和郡山市椎木町769-3 TEL.0743-56-5678

奈良厚生会病院ウェブサイト URL <http://www.nara-koseikai.or.jp>

令和6年1月

新年明けましておめでと
うございます。今年は辰年
です。僕の母も昭和3年生
まれの辰年です。今年で96
歳になります。認知症、難
聴、変形性膝関節症による
歩行困難と痛みと闘いなが
ら在宅で今も一生懸命に生
きています。しかし、もう
そろそろ限界で、彼女がど
ういう形で住み慣れた我が
家を去るのか、あるいは人
生を終えるのかは僕にもわ
かりません。戦前と戦時中
に子供時代と青春時代を過
ごし、地元の郵便局に勤務
し、戦後に父と結婚。最
近、結婚記念日を聞いてみ
ましたが全く覚えていま
せんでした。結婚後は貧乏
でしたが6人の子供を育て
ました。しかし、父は僕が研
修医時代に57歳で腎臓癌で
逝去、その後、6人の子供
のうち一人は自殺、一人は
交通事故死で、二人の子供
を不慮の事故で亡くし、母
の人生は決して平坦な道
りではありませんでした。



戦後まもなく、父と二人で
始めた会社は、現在も従業
員100人程度の中小企業「三
笠鉄工所」として奇跡的に
生き残り、僕の愚息が継い
でいます。戦後の日本復興
を国民の一人として影なが
ら支え、昭和・平成・令和
と生き抜いてきた母が、今
どのように自分の人生を振
り返っているのか聞いてみ
たいような気がします。が、
今となつては叶いません。
おそらく苦労と忍耐と悲し
みが多かった中でひとつか
みの幸せがあったんだろう
と想像しています。母と一
緒に暮らして今年で70年が
経ちます。今は母にとって
「父」と「僕」が重なる
いるようで、毎日「自分の
主人」を待つように「僕」
の帰りを待っています。日
ごとに壊れていく母を見る
のはつらいですが、何とか
できるだけ彼女らしく、そ
して、身勝手ながらわれわ
れ家族の悔いが残らないよ
うに天寿を全うしてくれ
ばと日々願っています。も
しかしたら母は想像以上に
強く偉大なのかもしれませ
ん。残された時間はあとわ
ずかですが、「あの素晴ら
しい愛をもつ一度」・・・
新年早々、私事になりま



したが、ここに「我が母の
記」をしるしました。当法
人には母と同じような人た
ちが、たくさん入院・入所
されています。その人たち
が過ごされてきたそれぞれ
人生の背景の偉大さは計り
知れず、また、私たちには
見えませんが、これまで日
本を支えてきた一人に間違
いはありません。一人一人
の残された貴重な時間をで
きるだけ大切にしておいて
ください。よろしく願ひ
します。

最後に、今年も多様な
ニーズに対応できるよう
に、医療法人厚生会と奈良
厚生会病院にとって、また
一步、新たな飛躍と発展の
年になりますように、そし
て、みなさんにとつてもい
い年になりますように、力
を合わせ頑張つて行きたい
と思います。本年もどうぞ
よろしく願ひします

◆ 医療法人厚生会 経営理念

持続的な安定経営と発展に努め、地域の医療と介護に貢献します。

◆ 奈良厚生会病院 方針

- 1、安全で良質な医療と介護を提供します。
- 2、清潔な療養環境を提供します。

◆ 行動指針

- 1、患者さんの人格を尊重し権利を守ります。
- 2、医療従事者としての自覚と厚生会職員であることに誇りを持ちます。
- 3、相互の信頼と協調、気配りと思いやりのある態度で職務を遂行します。
- 4、自制と責任感を持ち、規律と厳しさのある職場を目指します。
- 5、常に自己研鑽に努めます。

◆ 奈良厚生会病院 患者の権利章典

私たちは、科学的で安全性の高い医療と福祉を、患者と医療従事者の「共同の営み」として継続・発展させていくために「患者の権利章典」を定めます。

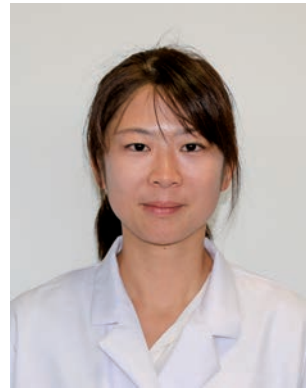
◆ 患者の権利と責務

- 1、良質な医療・看護・介護を公平に受ける権利
- 2、人格を尊重され、相互協力関係のもとでサービスを受ける権利
- 3、診療に関して十分な説明、情報を受け、自分の意志で選択する権利
- 4、プライバシーを保護される権利
- 5、患者自身の健康に関する情報を提供する責務
- 6、医療・介護上、理解できないことについて質問する責務
- 7、他の患者の治療や介護及び病院職員の医療・介護提供に支障を与えないよう配慮する責務

面会について

地域医療相談室

主任 百合 友香



現在、当院では月曜日～土曜日 13:00～16:00（日・祝除く）の間に面会時間を設けています。

2名様まで、15分。マスクとフェイスシールドの着用をお願いしておりますが、ご家族様からは「15分でも会えて嬉しいです。」という言葉を頂いております。

新型コロナウイルスが2類感染症だった頃は面会が全面禁止だった時期もありました。

その頃を振り返ってみると、入院時、病棟へ本人が行く直前の数分しか会うことができず、別れの際には本人の手をぎゅっと握りしめて「また会いに来るからね」と、いつ実現するのかわからない約

ご面会について

【面会に関する事項】

- 面会日時は、月曜日～土曜日、13:00～16:00（日曜日・祝日以外）
※ 年末年始、GW 期間中は変更となる場合がございます。
- 予約は必要といたしません。
- ご来院時に A 棟 1F 受付にて「面会簿」をご記入いただきます。
- マスク・フェイスシールドは必ず着用してください。
※ フェイスシールドは各自ご用意願います。院内売店にて販売もしております。
- 面会時間は入所者様おひとりにつき 15 分までといたします。
- 一度に面会できる人数は 2 名までとします。複数名で来られた場合は 2 名ずつ交代で面会していただくようお願いいたします。
- 主治医の許可なく飲食物を入所者様にお渡しすることはご遠慮願います。

【その他事項】

- 当院では階ごとに以下、入浴日を設定しております。職員総出にて入浴介助を行っておりますので、可能な限り各階入浴日の面会をご配慮願えましたら幸いです。

病棟	入浴日
A 棟 2 階	金曜日
A 棟 3 階	火曜日・金曜日
A 棟 4 階	月曜日・木曜日
B 棟 1 階	月曜日・木曜日
B 棟 2 階	火曜日・金曜日
B 棟 3 階	火曜日・金曜日

【面会に関する問い合わせ先】

☎ 0743-56-5678（地域医療相談室）

尚、今後の感染状況によっては変更となる場合があります。
何卒ご理解ご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

束を交わしていた光景が思い出されます。
急性期病院のように、治療が終わる、すぐにご自宅に帰られる患者様には面会はさほど問題にならないかもしれませんが、当院では長期療養を目的に入院・入所されている

方がほとんどです。その為、患者様とご家族様が「少しでも会える時間」を持つて頂きたいと考え、タブレット面会やシールド越しの面会をさせていただいておりますが、やはり距離のある面会だと相手の表情が伝わりにくかった

り、十分なコミュニケーションが取れないという問題が出ておりました。ご家族様からも直接会えないかという言葉を頂いておりましたが、感染予防の観点からそうせざるを得ませんでした。
現在は病室内にて15分間と

いう短い時間ですが、直接面会をしていただいております。本人と会話をしたり、手に触れたりとしてですがコロナ禍以前の姿に戻ってきたように思います。とはいえ、新型コロナウイルスやインフルエンザといった感染症は現在も感染者数の増減を繰り返しています。当院では免疫力や体力が低下した高齢の方が多く過ごされているだけに感染すると重症化する危険があります。患者様が安全に過ごせるように、時には病棟単位で面会を禁止にさせて頂くことがあります。ご家族様にはご心配をおかけする事もありますが、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

日本慢性期医療学会に

参加して

B棟1階

准看護師 神波 史江

2023年10月19日（木）
20日（金）の2日間、第31回日本慢性期医療学会が大阪国際会議場で開催されました。テーマは「超少子高齢化時代と慢性期医療」です。

のころを目指した予防という役割」で当日は日本全国から約1700人の医療従事者が集まり、当院からも20名参加いたしました。

今回、B棟1階は「介護医療院での療養生活者におけるレクリエーションを用いての活気・意欲の向上効果」についてポスター発表をさせていただきますのでご報告いたします。

当院に入所している利用者様の大半が認知症を発症しています。認知症高齢者は中核症状(記憶障害・失認など)に加え、BPSD(精神症状)(不安・妄想など)、行動症状(徘徊・暴言暴力など)といわれ

る周辺症状が出てきます。

利用者様はベッド上での療養生活が長くなると、臥床時間が増えることで刺激が少なく、コミュニケーション不足となります。そして活気・意欲、生活機能も低下、ADLの低下・介助量増加となり、悪循環になると考えました。そこで「コミュニケーションを図ることで、生活の活気・意欲にどのような変化があるか、疑問を抱き取り組みました。方法は同室者(4名) 同士の朝の挨拶と週2回のレクリエーションを行いました。朝の挨拶はモーニングケア時に行い職員の促しがないと挨拶ができなかったため同室者に促して1ヶ月間挨拶を行い、職員の促しなしでも挨拶ができてきたので、その後、促しなしで1ヶ月間行いました。しかし職員の促しが必要な時もあり合計3ヶ月間継続して挨拶に取り組みました。週2回のレクリエーションは毎週水曜日と土曜日の約15分から20分間実施しました。運動レクリエーションは風船バレー、盆踊りなどを実施し、作業レクリエーションは貼り絵や塗り絵、歌などを実施しました。最終日には夏



祭りを開催しました。朝の挨拶の結果は職員の促しがない場合は39・2%、67・3%と低く、促しを行っての挨拶・会話はほぼ100%できました。このことから職員が挨拶を促すことを意識することで利用者様同士のコミュニケーションが広がることになりました。週2回のレクリエーションの結果はレクリエーションの集団内個人評価表を作成し、6項目合計30点満点評価で行いました。作業レクリエーションは30点満点中25・4点と歌が高く、平均は22・5点でした。運動レクリエーションは30点満点中27・8点と盆

踊りが高く、平均点が23・1点でした。その中には、HDSIR(長谷川式認知症スケール)の平均点数が15・2点から17点と上がり、介護抵抗や、独語が軽減した結果もありました。また、病棟スタッフ20人に対してアンケート調査を実施しました。感想の中に『積極的な声掛けをすることにより活発に反応があり、声掛けの継続が必要だと気付いた。』また、『業務中のレクリエーションは工夫すれば可能であり、利用者様にとつて楽しみになっているとわかった。』等の意見がありました。

今回の取り組みを通して、病棟スタッフとリハビリスタッフの協力する事で、利用者様の普段見られないしぐさや動作、笑顔を見ることができました。また、利用者様同士が関心を持てるようになり、コミュニケーション能力が向上したことで認知機能の向上やBPSDの軽減につながったと考えます。引き続き、レクリエーション・コミュニケーションを行い、ケアの一環として取り組んでいきたいと思っています。

発表会場では色々な病院・

施設からの症例ポスターがあり、発表の合間にじっくりと観る事ができました。中には、取り組みたいと思う事例が多数あり、学びの機会となりました。

今回の症例は、他職種との連携・スタッフの協力があり、チーム一丸となってやり遂げることができました。また、何よりも利用者様の笑顔が嬉しく感じました。これからも利用者様と一緒に療養生活の楽しみを大切にできる看護・介護を継続していきたいと思っています。

最後になりましたが発表に協力いただいた皆さんと、発表の機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



《第21回昭和地区

ふれあいまつり》
に参加しました

総務課 岸本 憲治

10月29日の日曜日、「第21回昭和地区ふれあいまつり」が、秋晴れのもと昭和地区公民館にて開催されました。当院からは5名が参加し、健康のバロメーターとしての血圧測定、血糖測定、骨密度測定を行いました。近隣のご高齢の方、お子様連れのご家族、その他ふれあいまつりの実行委員の方々など、あちこちから人が集まって賑わいました。少し肌寒い一日ではありましたが、この日総勢97名の方に参加いただきました。

骨密度測定は、中高年女性



奈良厚生会病院 B棟

リフレッシュ工事

総務課 金地 英樹

2023年7月初旬より奈良厚生会病院B棟のリフレッシュ工事がスタートしていますが、工事内容を大まかにご

に多い骨粗鬆症の診断ができ

るということで、とりわけ女

性の参加者に人気が集まりま

した。椅子に腰を掛けて測定

台にかかとをのせ、数分で検

査が完了します。測定結果を

確認して安堵する方もいれ

ば、「食生活に気を付けるだ

けではなく、適度な運動や日

光浴も必要ですよ」と、看護

師からアドバイスを受ける姿

もみられました。

新型コロナウイルスの感染

症法上の位置付けが5類に移

行し、各地では次々とイベン

トが再開され、ようやくコロ

ナ禍前に戻ろうという兆しが

見え始めています。地域の

方々とのふれあいの場があ

り、ご自身で行う健康管理の

手助けが少しでもできれば、

当院にとっても非常に有意義

な機会であります。

今後も職員一同、地域の皆

様の健康増進に貢献できるよ

う尽力してまいります。

紹介させていただきます。

① ガス式空調設備 → 電気式
空調設備へ

今までのB棟はガスを使用

した空調設備でしたが、電気

式タイプにすべて変更となり、

ここ数年の気候変動に合わせ

て、利用者様のお部屋はもち

ろんの事です。廊下、ディ

ルームなどすべての空調設備

で個別に調整の出来るタイプ

となりました。また、室温も集

中管理が出来るようになり、

今まで以上に快適に過ごして

いただくことができます。

② 照明 古い蛍光灯 → LED
D照明に

今までB棟はすべて蛍光灯

でしたが、LED照明にすべ

て変更です。蛍光灯よりも非

常に明るくなりました。利用

者様はもちろん病棟スタッフ

にとっても、非常にうれしい

変更です

③ 屋上防水工事。



昨今の異常気象による暴風雨対策として、屋上の防水工事を今年度に予定しております。ゲリラ豪雨等による漏水等を防ぎます。

病院の工事ということで利用者様の療養生活や職員の業務に支障が出ないようにしながら工事を進めなければならず、皆様には大変ご無理、ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程宜しくお願いします。

編集後記

『人生会議』

人生会議（ACP・アドバンス・ケア・プランニング）という言葉が耳にしたことがあるかと思いますが、この人

生会議とは、もしもの時のために、人生の最終段階について家族等や医療・ケアチーム・本人とで希望する医療やケアについて前もって考え、繰り返し話し合うプログラムです。しかし、当院に入院される時点で御本人の意思確認が難しい方が大多数を占めるのが現状です。よって御本人の意向よりも御家族等に最期の決断を委ねることになり、その重圧は想像に難くありません。

このような現状から人生会議において「本人はどのような最期を迎えたいと思っているか」を本人・家族・スタッフで共有することが多死社会において今後益々必要になってくると思われます。最期の日に向けて毎日を安楽に楽しく豊かに生きていくこと「生ききる」という視点を皆で持ち、御家族と我々スタッフが共同して支えていくことが大切であると思っています。

